

青葉通仙台駅前エリア未来ビジョン（概要版）

1. エリアの位置

駅前通と愛宕上杉通間の青葉通 + 沿道敷地

2. 策定主体

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会

→学識経験者、商工関係者、沿道地権者、
交通事業者、交通管理者、仙台市などで
構成

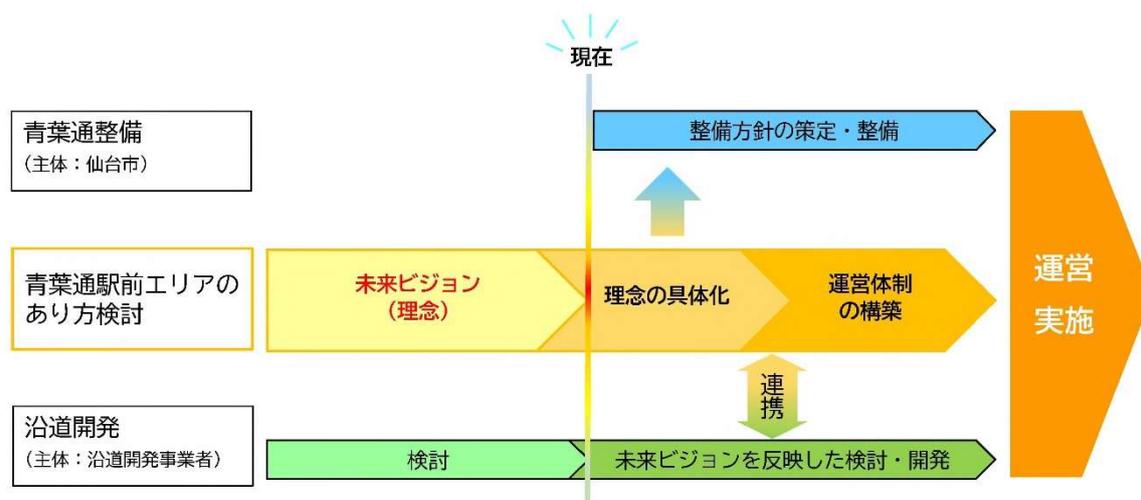


3. 未来ビジョン策定の目的

官民が連携して公共空間のあり方を検討し、共通の認識を持つことで、今後想定される沿道開発と一体となった「仙台の顔」を形成するため

4. 未来ビジョンの位置付け

官民が連携して沿道開発と一体となった仙台の顔を形成するためには、具体的な計画、整備を進めていく前にエリアづくりの理念を共有することが重要です。今回の未来ビジョンは、エリアづくりの理念をまとめたものであり、具体的な内容、計画は官民が連携する形で引き続き進めます



5. 未来ビジョンの組み立て

